

岩顔は思ひ付し人このお持ち事おの守を満り集えて相
巢と見てハそトは竹の角に入れて雨のからぬ様用ひして
さし置ぬ然るは農家のあひまて秋かり宅の茶屋の小
口は在巢必坐して雛を生ぜしかの風とりといふ大蛇
是より雛を一つとりぬいさ不便と思ひてかの蛇を追追
け逐しが又来ん爰とてこもすべきやふかくおらかのこまの
巢は立あせし地鯉鮒の守一つありしを雀の巢の下にさし
置心とせめて居しはるもかく親雀のあやしう鳴声